



5期生 卒業生 田中宗子

活動期間：令和4年4月～令和7年3月

卒業後の活動

令和7年度より、移住コーディネーターとして引き続きSPRINGに在籍し、移住・定住に関わる活動を行っています。さらに、任期中に学んだ天然酵母パン作りを活かし、自家製パンで「川崎町のおいしいもの」をサンド！川崎の魅力を発信するキッチンカーとして、イベント出店にも取り組んでいます。

川崎町の「ちよいどいい田舎」で、
「四季の移り変わりを感じられるところ」
「あたたかみを感じる場所」
「自然豊かな景色や、
移住者が
移住者として
移住者として
移住者として」



任期中には自家製パンの販売にもチャレンジしました！

地域おこし協力隊だより



四季を感じるまち、川崎町の移住体験ツアー

すっかり白くなった蔵王の山の凛とした姿に、新たな気持ちで新年を迎えています。四季の移り変わりを身近に感じられるところ、川崎町の大きな魅力です。

この魅力を伝え、移住者を増やしていこうという思いから、「移住体験ツアー」を開催しています。今年度は季節ごとに年4回、協力隊OBの拙さんが運営する団体「里山Joy!」とコラボし、企画から当日のアテンドまで私たちが担当しています。

ツアーでは、おすすめスポットや空き家バンクの物件を紹介しながら町内を巡るほか、草木染めや釣り、薪割りなど、自然の中での体験メニューも用意しています。また、川崎町での子育てのことや移住して感じたことなど、参加者からの疑問にお答えするもの、移住者である協力隊の大切な役目です。

ただの観光ではなく、移住先としての川崎町でのリアルな暮らしを感じていただける企画づくりを心がけています。

地域おこし協力隊だより



移住を支える、お試し移住施設 ENGAWAの取り組み

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の業務の一つに、お試し移住施設ENGAWAの管理・運営があります。この施設は、川崎町への移住を検討されている方が、暮らしを具体的にイメージできるよう、最大10日間無料で滞在できる拠点です。

ENGAWAは、空き家を改修したモデルハウスで、「人の縁が輪のように広がる川崎の家」をコンセプトに整備されました。町の魅力や人とのつながりを感じていただく場として活用されています。

実際に8月には、オーストラリアから移住を検討されているご夫婦が滞在されました。空き家バンクを活用して住まいを探しながら生活を体験し、最終的に町内での暮らしをスタートされました。

滞在中のサポートには多くの課題もありますが、移住を決めていただいた時の喜びは大きなやりがいです。今後も一人ひとりに寄り添いながら、移住促進に取り組んでいきます。